

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年1月18日から2004年1月24日の週

目次

科学技術、メディア、通信および生命科学市場の動向 2

週間ハイライト

国際 3

韓国 3

中国 4

台湾 4

シンガポール/マレーシア/フィリピン/インドネシア 4

香港 4

米国 / カナダ 5

欧州 6

この文書は情報提供を目的としており投資助言とはみなされませんし、またこの文書で言及されている会社の証券の購入や売却を推奨しているともみなされません。IRG Limited, f/k/a iReality Group Limited, 及びその関係会社はこの文書に記載されている情報の正確性や完全性についていかなる表現もいたしません。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年1月18日から2004年1月24日の週

科学技術・メディア・通信（TMT）及び生命科学市場の動向

アジア市場 : TMT及び生命科学関連転換社債						
発行日	発行体	業務内容	償還日	発行規模（百万米ドル）	1万米ドル当転換株数	転換最終日
2004年1月21日	ジェットウェイ・インフォメーション (6161.TT)	マザーボード、LCDモニター等の設計、製造及び販売	2009年1月21日	11.9	1,528株	2009年1月11日
ナスダック及びニューヨーク証券取引所 : TMT及び生命科学関連新規公開申請						
申請日	発行体（取引所）	業種	規模（百万米ドル）	業務内容	主幹事	幹事
2004年1月21日	ジャズ・セミコンダクター (JAZZ.US) (ナスダック)	半導体	150	アナログ及び混合信号半導体に特化した独立系半導体製造会社	CSFB	リーマン・ブラザーズ
ナスダック/ニューヨーク証券取引所 : TMT及び生命科学新規公開						
上場日	発行体	業務内容	規模（百万米ドル）	募集価格	2004年1月16日の株価	公募価格比変化率
アジア市場 : TMT及び生命科学関連新規公開						
発行日	発行体	業務内容	規模（百万米ドル）	募集価格	2004年1月23日の株価	公募価格比変化率
2004年1月19日	メガインフォ・ホールディング (8279.HK) (香港ジェム)	デジタル・イメージ処理応用技術の提供	16.2	0.25 香港ドル	0.26 香港ドル	4%
2004年1月19日	スピーディーテック・エレクトロニクス (SPDY.SP) (シンガポール)	PCB組み立て等電子製品製造	26.8	0.4 シンガポール・ドル	0.7 シンガポール・ドル	66.7%

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年1月18日から2004年1月24日の週

週間ハイライト

国際

モバイル/無線通信

- **ソニー・エリクソンの2003年第四四半期決算は黒字転換。**2003年通年の赤字額は1億630万米ドル、売上高は前年比で11.9%増加し59億米ドル。2002年の赤字額は5億3090万米ドルだった。

半導体

- **WTOは韓国製コンピューター・チップに対する米国とEUの輸入関税について委員会を設置。**WTO規約違反とした韓国の要請を受けたもの。米国は44.7%、EUは33%の輸入関税を課している。
- **北米企業からのマイクロチップ製造機器3ヶ月平均受注額は昨年12月に前月比で19%上昇し2002年4月以来の高い増加率を記録。**12月の受注額は11億米ドルだった。

韓国

ハードウェア

- **韓国全体の2003年のTFT-LCD売上高は初めて100億米ドルを超える。**LGフィリップス、サムスン電子、BOEハイディスプレイの売上高はそれぞれ51億米ドル、49億米ドル、7億2000万米ドル。

IT

- **韓国の情報通信大臣は今年IT業界の雇用創出に注力することを強調。**携帯電話、メモリー・チップ等の輸出を促進する。情報通信省は今年データベース構築計画に3970万米ドルを投資する。

インターネット

- **ピンク・コミュニケーションズはオンライン結婚ウェブサイトを開始。**オンライン結婚ウェブサイトは既に業界として確立されている。
- **韓国最大のオンライン・オークション会社であるオークションの第四四半期純利益は前年同期比で9.8%増加し410万米ドル。**売上高は前年同期比で69%増加し1650万米ドルだった。

モバイル/無線通信

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年1月18日から2004年1月24日の週

- KT は世界最大の MP3 プレーヤー製造会社レインコムと提携し無線で音楽をダウンロードできる携帯型音楽プレーヤーを開発すると発表。KT のダウンロード・サービス加入者は 11 月末現在 35 万。

通信

- KT は収益性を向上させるため新しい成長の牽引車を見つけるために布石を打つ。音声とデータ通信の結合、固定回線電話と携帯電話の結合、通信と放送の結合等が課題となる。

中国

半導体

- 中国最大のチップ製造企業セミコンダクター・マニュファクチャリングは 2 億 8500 万米ドルを銀行借入れで調達。4 月の新規株式公開を前に現金保有高は 9 億 1500 万米ドルとなった。

台湾

ハードウェア

- 台湾の製造会社からの LCD 供給不足で中国本土のコンピューター・モニター製造会社は苦境が続く。利益率にも影響が出ている。供給不足は昨年 3 月に始まったが今年後半には解消する見込み。

シンガポール/マレーシア/フィリピン/インドネシア

モバイル/無線通信

- シンガポールの携帯電話運営会社であるモバイル・ワンの 2003 年純利益は 10%増加し 8290 万米ドル。売上高は 1.6%増加し 4 億 1950 万米ドル。営業利益は 1.7%減少し 3 億 710 万米ドルだった。

香港

モバイル/無線通信

- 香港で第三世代携帯電話の販売促進が開始される。ハチソンの営業員が法人顧客を訪問し第三世代携帯電話の機能説明を開始した。CNN 等の速報は 30 分から 1 時間遅れになる。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年1月18日から2004年1月24日の週

米国/カナダ

ハードウェア

- **ロジテック・インターナショナルの第三四半期純利益はパソコン周辺機器の売上好調で65%増加。**6,680万米ドルだった。繰り延べ税金資産の評価変更による特別利益が1,340万米ドル。
- **学校用コンピューター製品製造のアルファ・スマートは株式新規公開で440万株を売却。**募集株数が360万株、売り出し株数が80万株。公開株価は8-10米ドルの予定。

IT

- **EMCの第四四半期決算は前年同期の赤字から黒字転換。**第四四半期に買収したレガト・システムズとドキュメントムが売上高増に貢献した。2004年の売上高予測は25%増の78億米ドル。

インターネット

- **アリバはフリーマーケットを株式と現金を利用して4億9300万米ドルで買収する計画。**アリバは四半期黒字転換したばかりで時価総額は10億米ドル。フリーマーケットは赤字続き。
- **オンライン映画レンタルのネットフリックスの第四四半期決算は230万米ドルの純利益で黒字転換。**前年同期は230万米ドルの赤字。売上高は80%増加して8,120万米ドルだった。
- **イー・トレード・ファイナンシャルは競合相手のTDウォーターハウスとの合併を模索しているが、第四四半期の純利益は3倍以上となり1億700万米ドル。**営業収入は3億7270万米ドルだった。
- **オンライン小売売上高は2008年迄年率17%の上昇が見込まれる。**2004年の売上高は650億米ドル、2008年の売上高は1,170億米ドルと見込まれている。
- **グーグルの販売促進付電子メールに対する消費者の反応が良くない。**電子メールを送付すると広告が付いている機能。検索エンジンについての広告は既に20億米ドル市場になっている。
- **ヤフーとファンダンゴはヤフーの映画ウェブサイト利用者にファンダンゴのオンライン・チケット購入機能等を利用してもらうことで長期契約。**売上は両社で分配する。
- **イー・ベイの第四四半期純利益は64%増加、売上高は57%増加。**通年の純利益は4億4180万米ドル。昨年のクリスマス商戦での業界売上高は前年同期比30%増の125億米ドルだった。

モバイル/無線通信

- **クアルコムは第四四半期純利益はCDMA携帯電話の需要が旺盛で前年同期比46%増加。**2004年第一四半期の売上高予測は前期比で9-15%減、前年同期比で1-8%減の見込み。
- **AT&Tは買い手を探していることを認める。**第四四半期の決算は8400万米ドルの赤字。前年同期は

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年1月18日から2004年1月24日の週

1億3100万米ドルの赤字だった。

半導体

- インテルは今年第一四半期から一株当り配当金を2セントから4セントに倍額増加。権利付最終日は2月7日、配当支払日は3月1日。インテルは1992年に配当を開始し45四半期連続有配中。
- アドバンスド・マイクロ・デバイシズの第四四半期決算はマイクロプロセッサの出荷が好調で売上高は76%増の12億米ドル。一年以上振りに黒字転換し4310万米ドルの純利益を記録した。

ソフトウェア

- オラクルのピープルズソフトに対する73億米ドルの敵対的買収は司法省の買収停止決定が近く逆風に直面している。独占禁止法違反が理由。司法省の最終決定は2月末迄の見込み。
- コンピューター・アソシエイツの12月末迄の第三四半期決算はドル安要因もあり黒字転換し2200万米ドルの純利益を記録。前年同期は4400万米ドルの赤字だった。

通信

- ゴールドマン・サクス・グループ (GSG) は助言料950万米ドルを以前のワールドコムに払い戻し。GSGは2002年5月に金融助言業者に指名され、ワールドコムは2002年7月に破産申請した。
- ルーセント・テクノロジーの12月末迄の第一四半期決算は3億4900万米ドルの純利益で2四半期連続黒字。前年同期は3億8900万米ドルの赤字。売上高は前年同期比8.6%増の23億米ドル。
- AT&TとSBCコミュニケーションズの弁護士はIP電話について議論。3000億米ドル産業の通信業界にとってIP電話は死活問題。公共電話に課される規制がIP電話には課されていない。
- ノーテル・ネットワークは新製品とネットワーク・テクノロジーに特化するため生産設備を切り離し。売却予定先はフレクトロニクスで5億米ドル以上の生産設備売却となる。
- BCEの子会社であるベル・カナダはインターネット・ネットワーク・サービスについてシスコ・システム・カナダとの契約に調印。3年契約。シスコとベル・カナダはVOIPの新技术を開発する。
- ベルサウスの第四四半期純利益は前年同期比で37%増加し7億8700万米ドル。子会社売却、雇用契約解除に伴う特別損失後の数字。売上高は前年同期比で0.9%増加し57億米ドルだった。
- 米国の2大長距離電話会社であるAT&TとMCIの今年の売上高は更に減少する見込み。AT&Tの第四四半期は3分の2になった。今年は7-10%の減収を見込む。MCIは10-12%の減収を見込む。

欧州

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年1月18日から2004年1月24日の週

IT

- **イリアドは発行済株式数の12-15%を新規株式公開で公募しパリ証券取引所に上場する計画を発表。**技術関連株の新規公開はフランスでは3年間低迷していた。資金調達予定額は9500万米ドル。

モバイル/無線通信

- **ノキアの第四四半期純利益は11%増加。**ノキアは世界の携帯電話市場が今年10%成長をすると見込んでいる。ノキアの昨年の携帯電話売上台数は4億7100万台。第四四半期だけで1億4500万台。

半導体

- **インフィネオンの昨年12月末迄の第一決算四半期決算は前年同期の赤字5020万米ドルから黒字転換し4210万米ドルの純利益。**売上高は前年同期比13%増の20億米ドル。前期比では8%減。

ソフトウェア

- **SAPの第四四半期純利益は前年同期比11%減の5億3430万米ドル。**売上高は3%減の28億米ドル。ドル安効果を除くと売上高は4%増。ソフトウェア売上高は12億米ドルで微減だった。

通信

- **ジーメンスの昨年12月末迄の第一決算四半期純利益は前年同期比39%増の9億1030万米ドル。**売上高は2.7%減の229億米ドル。受注は2%増の257億米ドル。